

**平成 31 年度市民提案型市民協働事業実施報告書**  
**(狛江市ラグビーフットボール協会との市民協働事業)**

**1. 事業概要**

親子向けイベントを含めたパブリックビューイングを開催する事で、一生に一度といわれるラグビーワールドカップ 2019™に向けた気運の醸成と青少年健全育成を図ることを目的として、ラグビーワールドカップ 2019 開幕戦パブリックビューイングを実施した。

**2. 主催**

狛江市  
狛江市ラグビーフットボール協会

**3. 事業形態**

狛江市と狛江市ラグビーフットボール協会との市民協働事業  
(平成 31 年度市民提案型市民協働事業)

**4. 事業実施経過**

実施日	内容
4月1日	協定の締結
5月1日	各芸能事務所と打合せ
6月1日	選手依頼について、打合せ
7月1日	パブリックビューイング全体運営、開催場所依頼状況、チラシ配布について、打合せ、東京都の申請基準について打合せ
8月1日	事前打ち合わせ
9月19日	前日準備 スタッフ調整、ボール空気入れ等
9月20日	「ラグビーワールドカップ 2019 パブリックビューイング」の実施日
9月21～30日	御礼状発送、御礼回り

## 5. 各事業詳細

### 【実施内容】

狛江市民（在住・在勤・在学）を対象として、ラグビーワールドカップ 2019 日本代表対ロシア代表を観戦するパブリックビューイングを実施した。

会場では最初に、選手にラグビーのルールや試合の見所等を解説してもらうとともに、試合でも選手と市民が一緒に観戦した。

### 【実施日】

令和元年 9 月 20 日（金）

### 【会場】

狛江エコルマホール&ホワイエ

### 【ゲスト・講師】

垣永真之介選手（サントリーサンゴリアス）

### 【対象】

狛江市民（在住・在学・在勤）

### 【参加者数】

参加者数：約 1,000 名

（大人：約 650 人、子供：約 350 人）

ラグビーワールドカップ 2019™  
パブリックビューイング

9/20 開幕戦 日本 VS ロシア

エコルマホール 定員 400 人 プレゼント 入場無料

15:00 開場  
● 絵手紙体験 (18:00 まで)  
～絵手紙で代表の願いを込めよう～  
● 狛江市民 ミニコンサート  
～狛江の2名アーティスト～

17:00 ライブステージ  
● つのだりょうこさん  
～つのだりょうこさんと一緒に歌おう～  
● 寺田有希さんライブ  
～試合に向けて盛り上げよう～

18:00 挨拶  
～狛江市長 松岡健雄  
ロシア大使館 二等書記官 イゴール・アモビッチ  
18:30 開会式パブリックビューイング  
19:15 トークショー  
サントリーサンゴリアス垣永真之介選手  
19:45 ラグビーワールドカップ 2019™  
パブリックビューイング  
日本代表 VS ロシア代表

狛江市長 (松岡健雄) つのだりょうこさん (歌手) 寺田有希さん (女優) 垣永真之介選手 (サントリーサンゴリアス)

狛江駅北口交通広場 ～駅前では打楽器演奏でおもてなし～  
17:00～17:30 駅前ライブ ● どやどや楽団ライブ

主催：狛江市 共催：事務局  
協賛：狛江ラグビーフットボール協会、一般社団法人 狛江市民文化振興会  
後援：一般社団法人 エコルママネジメント委員会、「絵手紙芸術の場-茨城」実行委員会、[株]中興産 茨城県立文化センター・パブリックビューイング推進部

### 【スケジュール】

- |             |                            |
|-------------|----------------------------|
| 15:00～18:00 | 絵手紙・郵便局コーナー・狛江市民ウェルカムソング開催 |
| 17:00～17:00 | つのだりょうこさんステージ              |
| 17:40～18:00 | 寺田有希さん、狛江市民ステージ            |
| 18:00～18:20 | 主催者、来賓、出演者あいさつ             |
| 18:20～19:10 | パブリックビューイング 開会式            |
| 19:10～19:40 | 垣永選手トークショー&狛江高校ラグビー部員ルール説明 |
| 19:40～19:45 | 国歌斉唱                       |
| 19:45～21:45 | パブリックビューイング 開幕戦日本対ロシア      |
| 21:45～22:30 | ボール引き換え                    |

### 【事業成果】

- ・親子を対象とした質の高いステージに、ラグビーの要素を取り入れ、0～18 歳以下の参加者が約 350 人と、全国でも子どもの比率の高いパブリックビューイングを実現し、青少年健全育成に資する取組が出来た。
- ・試合観戦を通じて、人と人のコミュニケーションを生み出すことが出来た。
- ・絵手紙体験教室は、150 枚以上を書くこととなり、今まで来なかった親子連れなど

にもアプローチが出来たと喜ばれた。

- ・郵便局、カンタベリーでは、大会公式グッズの販売が好調で関心の高さが伺えた。
- ・すべての事業を通じラグビーワールドカップに対する関心を高めることができた。
- ・インカムを渡すことにより、分かりにくいラグビーのルールを選手に解説してもらおう等、子ども達やラグビー初心者の方でも試合を楽しみ、ラグビー競技に興味を持ってもらうことができた。
- ・レベルの高い試合観戦や選手との交流等、参加した子ども達の記憶に残り、希望を持って成長できる取組となった。

### 【写真】

